

高等学校国語総合 現代文編・古典編「改訂版」



指導資料 現代文教材	22
指導資料 古典教材	16
付属DVD-ROM収録教材	2

◎学習の目標を、具体的に箇条書きでまとめました。

◎学習目標

評論二 「もの」の科学から「こと」の科学へ 228

◎時間・目標・学習内容と指導内容・指導上の留意点を、指導の実際に即して表組みで示しました。

◎時間・目標・学習内容と指導内容・指導上の留意点を、指導の実際に即して表組みで示しました。

229 教科書[p.120～p.125]

学習指導の展開と評価

●学習指導案例（配当時間三時間の場合）

時間	目標	学習活動と指導内容	指導上の留意点
第1時限	① 本教材についての導入を行う ② 第一段（初め～121・7）を読み、「もの」と「こと」の違いについての筆者の見解を理解する	1 生徒の生きる「二十一世紀」のイメージについて確認する。 2 全文を通読する。	1 自由に話し合いをさせてよい。「二十一世紀」についての捉え方が筆者の意見と同じである必要はない。 2 難しい語句や読み方のわからない漢字を確認させる。
第2時限	① 第一段（121・8～122・5）を読み、「こと」の科学」の発想が、全ての社会事象にあてはまるることを理解する	1 第一段の要旨をまとめる。（学習の手引き） 2 「もの」と「こと」の違いについての筆者の見解を理解する。 3 「こと」の科学」の発想は、すべての社会事象に当てはまるることを理解する。	1 表の形で整理させる。 2 「コップの水」と「蛹」の例を踏まえ、「もの」の科学」と「こと」の科学」の考え方の違いを文脈に沿って理解させる。
展開2		1 第一段を黙読する。 2 第二段の要旨をまとめる。（学習の手引き） 3 「こと」の科学」の発想は、すべての社会事象に当てはまるることを理解する。	

◎「指導上の留意点」は、「学習活動と指導内容」の内容と一致するように、同じ番号で示しました。

◎学習指導のポイント

筆者の問題意識を把握し、その論理の展開を理解する。
筆者が自らの論証のために用意した事例の意図や意味を考える。
筆者の論証を整理し、要約する。
筆者の意見に基づいて、他の社会的事象へ敷衍する。

二十一世紀も十五年が過ぎようとする現在、あらゆる物事に対する思考の枠組みそのものの変革が求められている。本教材において筆者は、そのような時代状況の変化を背景として、科学の世界における基本的な考え方の変化（パラダイム・シフト）を踏まえながら、社会全体の「頭の切り替え」の必要性を訴えている。二十世紀、物理学の世界は目覚ましい発展を遂げた。ニュートン力学では説明できない物理現象を説明するために、量子力学や相対性理論が生まれたのである。化学同様、古典物理学から現代物理学へのパラダイム・シフトは、二十世紀から二十一世紀への過渡的状況の中に生きる私たちの、身近な認識レベルにおける意識変化の必要性とアノロジーを成している。表題になっている「もの」の科学から「こと」の科学へ、という言葉は、そのような文脈において理解されなければならない。

また、筆者が組み立てる論理構成にも注目しておきたい。論証の形

式には普遍性がある。読み手に身近な話題を具体的な事例として提示し、その背後にある思想を筆者の解釈として取り出していく本教材の論理構成は、評論読解に必要となる論証の基本型を学ぶことのみならず、生徒が自身の手で論証を組み立てる際の参考となるはずである。論証の妥当性は、事例の選び方とその組み合わせにかかっている。何を選び、どう組み合わせるのかという、書くための発想を鍛える観点についても留意して学習させたい。

最後に、本教材において筆者は、科学者としての立場から述べた自分の考えが、実は社会全体へと敷衍可能なものである可能性について指摘している。だとすれば、筆者が論証の根拠として取り上げた事例以外にも、「頭の切り替え」が求められる事象は数多く存在するはずである。この主張は、読み手である生徒を取り巻く日常世界の問題へと引きつけて考えることもできるだろう。

評論一 「もの」の科学から「こと」の科学へ……◆池田清彦

評論二 「もの」の科学から「こと」の科学へ 230

第3時限	
①筆者が主張を展開するために採用している論理構成を理解する	展開3 1 第三段を黙読する。 2 第三段の要旨をまとめる。（学習の手引き〔②〕）
②第三段（22・6～終わり）を読み、「頭の切り替え」が必要な社会事象について考える	まとめ 3 「こと」の科学の発想は、多くの社会事象に当てはまるのを理解する。 4 筆者が主張を展開するために採用している論理構成を理解する。（学習の手引き〔③〕）
③「もの」の科学の考え方と「こと」の科学の考え方の違いによる生物多様性の保全への対処が異なることを理解させる。	1 「もの」の科学の考え方と「こと」の科学の考え方の違いによる生物多様性の保全への対処が異なることを理解させる。
④「病気の治療」「R&Dの利用の仕方」の事例を踏まえながら、「もの」から「こと」への考え方の変更を促す展開を理解させる。	2 本文の記述を踏まえ、「もの」の科学と「こと」の科学の考え方の違いによって、生物多様性の保全への対処が異なることを理解させる。 3 「もの」の科学の考え方と「こと」の科学の考え方の違いによる生物多様性の保全への対処が異なることを理解させる。 4 「病気の治療」「R&Dの利用の仕方」の事例を踏まえながら、「もの」から「こと」への考え方の変更を促す展開を理解させる。

◎筆者（作者）の肩書き・業績・作風・著作などについて解説しました。

池田清彦（いけだきよひこ）
一九四七（昭和二二）年～。東京生まれ。生物学者・評論家。東京都立大学大学院理学研究科博士課程単位取得満期退学（生物学）。理学博士。山梨大学教育人間科学部教授を経て、早稲田大学国際教養学部教授。構造主義生物学の地平から、多分野にわたって評論活動を行つ

てある。構造主義生物学は、生物における種の変異（進化）が、遺伝子の変化から徐々に起るのではなく、遺伝子を一要素とする部品間の構造（システム）の変化によって一気に起ると考える点に特徴がある。

主な著書
・『構造主義生物学とは何か 多元主義による世界解説の試み』（一九八八年・海鳴社）
・『構造主義と進化論』（一九八九年・海鳴社）

◎教科書採録本文の出典を示しました。
書名・発行年・出版社に加え、必要に応じて解説を加えました。

231 教科書[p.120～p.125]

◎出典
『ゼファイルスの卵』（二〇〇七年・東京書籍）
本書は、一九九八年～二〇〇七年にかけて書かれた著者のエッセイをまとめたもの。タイトルの「ゼファイルス」とは、シジミチョウ科の中のミドリシジミなどの一群を指す。ギリシャ神話の西風の精ゼフィロス（「そよ風の精」の意）が語源と言われている。
〔本文との異同〕
二十世紀の後年から二十世紀の終わり頃から

著者は「進化論はすでに書き換えられつつある」とした上で、進化の主因を「様々なレベルでの形態形成システムの変更」であると言う。これまでの進化論は「小進化」の説明原理としてはよくできているが、単細胞生物から多細胞生物へ、無脊椎動物から脊椎動物、魚類から四足動物へという「種」の発生をともなうような「大進化」を説明することができない。形態形成にとって最も重要なことは、遺伝子自体の変異というよりも、遺伝子たちが発生プロセスの中でどのような役割を果たすのか、にある。著者によれば、進化は漸進的に起るものではない。なぜなら自然選択は、進化の原因ではなく結果だからである。

【二〇〇字】
二十世紀においては、これまで厳密性と普遍性を追求してきた科学も、個別性と多様性に目を向けなければならなくなってきた。対象を固定化した「もの」としてではなく、個別性と多様性に富んだ、流動的な「こと」として扱うことが必要である。二十世紀においては、科学のみならず、あらゆる社会事象において発想の転換が求められている。（二〇〇字）

※「もの」にもとづいた考え方から、「こと」を前提とした考え方への変化がわかるようまとめる。「〇〇ではなく、〇〇が必要である。」という基本文を使って整理するとよい。

◎字数制限を付加して、要旨（大意）を掲載しました。
字数制限は、二〇〇字・一〇〇字を原則としました。

教材の研究（全体の構成／展開図／表現の特色）

◎教材文全体を意味上の段落に分けて表組みで示し、段落ごとに要旨（大意）をまとめ、小見出しをつけました。

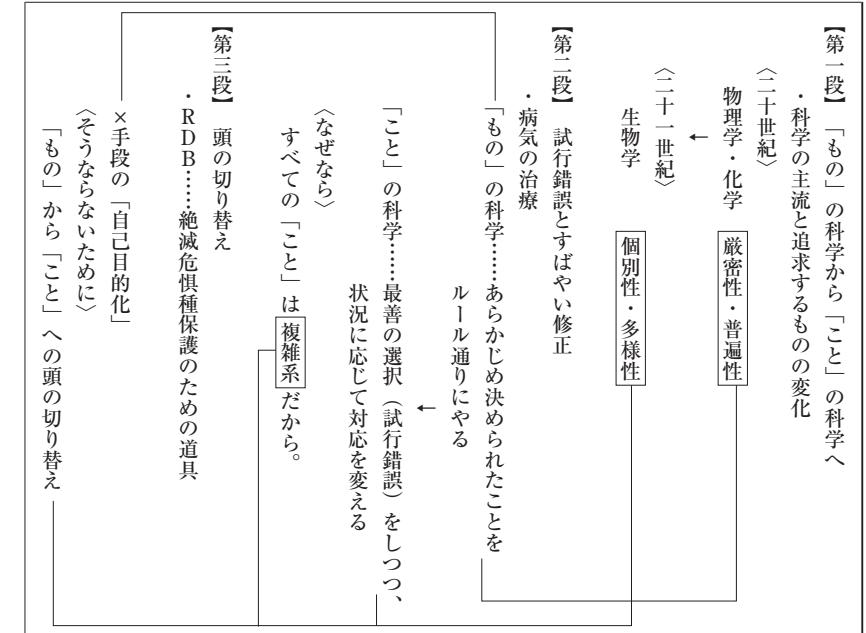
評論二 「もの」の科学から「こと」の科学へ

232

段落	ページ・行	要旨
第一段	121・7 「例えれば、病気の……」	「もの」の科学から「こと」の科学へ 二十世紀の終わり頃に、科学の主流は物理学や化学から生物学へと移行した。これは、厳密性と普遍性を追求する「もの」の科学から個別性と多様性に目を向ける「こと」の科学へと変化したことを意味する。
第二段	121・8 「例えれば、病気の……」	試行錯誤と修正主義 病気の治療においては、同じ病名だからといって同じ対処法が有効であるとは限らない。だから、最善の方法をつねに模索しながら状況に応じて対応を変えなければならない。
第三段	122・6 「例えれば、生物の多様性の……」	頭の切り替えの必要性 R D Bは、絶滅危惧種保護のための道具にすぎない。だから、種を保護するための最善の方法をつねに模索しながら状況に応じて対応を変えなければならない。「もの」から「こと」への頭の切り替えは、科学全体ばかりでなく社会全体にもぜひ必要なのだ。

◎教材全体を概観できるよう、内容を図式化したものを示しました。

233 教科書[p.120～p.125]



●表現の特色

本教材の表現上の特色は、一文の長さが短く、その中で主語と述語が重複することも少ない点にある（単文構造）。そして、構造の単純な短い文が、接続詞、あるいは接続のための語句によって次の文へつながっている。

冒頭の三行は四つの文で構成されており、それぞれが「もちろん」「しかし」「ごく乱暴にいえば」という語で接続されている。試みに、この四つの文を一文にしてみれば次のようなになるだろう。

二十世紀は科学の時代であつたし、もちろん二十一世紀も科学の時代になるにちがいないが、その中身は、ごく乱暴にいえば、「ものの」の科学から「こと」の科学へと大きく変容するはずだ。

四文で構成された文章を一文で書くと、表現される内容 자체に変わりはないが、一文が長くなることで冗長になる。また「時代であつた」「時代になる」「変容するはずだ」と、述語に相当する部分が三か所も出てきてしまうので、文意を読み取る難易度は上がる。本教材がもたらす印象としての文章の読みやすさは、短文（単文）がそれぞれ接続詞でつながっている点に起因している。これは、生徒自身が文章を作成する際にも参考となるだろう。

また、「制御可能性」「普遍性」「多様性」など、「～性」という言葉が散見されるが、「～性」は「～であること」と読み換えることができる。先ほどの例で言えば「制御（が）可能であること」「普遍であること」「多様であること」と言い換えることができる。「制御可能性」など、漢語が連なった字面のイメージは難解な印象を与えるかもしれないが、解きほぐしてみれば既知の言葉と大きく異なる語義を持つわけないことがわかるだろう。

◎教材文や筆者（作者）の特徴的な表現について、具体例を挙げながら解説しました。

○授業展開時に有効な発問と解答例を示し、必要に応じて解説を加えました。

◎教科書の「語句」欄の語句や重要な概念、固有名詞などについて解説したほか、読解上のポイントになる文についても取り上げました。

評論二 「もの」の科学から「こと」の科学へ 234

語句・文脈の解説

120ページ

L1 科学の時代 ここでいう「科学の時代」とは、科学が人類を変えた世紀だった、ということだろう。確かに二十世紀における人類の科学の発展にはめざましいものがあった。

飛行機・潜水艦・宇宙ロケットなどの開発は、人類の行動可能な範囲を空・深海・宇宙へと拡大し、加えて、北極点・南極点への到達などにより、地球上での人類未踏の地はほぼなくなつたのである。ちなみに、米国タイム誌が選んだ二十世紀を代表する顔の中には、フェルミ、ショックレーといった物理学者と並んで、プラスチックの父と呼ばれる化学者、ベーカーランドが入っている。街中で明かりが灯り、自動車が走り、飛行機が飛ぶという日常の風景は、そのほとんどが二十世紀の産物であることを確認しておくとよい。

L4 物理学 physics 物理学（ファイジックス）は、かつて児童学と訳されていたことからも推察されるように、物理現象（物）の理（ことわり）を究めようとする学問である。これに対して、世界の根本的な成り立ちの理由や、物や人間の存在の理由や意味など、見た目において「もの」の科学の発想にもとづいた結果だということになる。また、マニュアル（手引き）に基づいて行動するというのも、

は、同様に対象の変化を予想しつつ支配すること。どちらも、物事を人為的に操作し、計画や想定の範囲内に収めようとする発想だと言うことができる。私たちが何気なく目に見える「明日の天気予報」も、「明日」を「今日」の延長線上で予想しつつ支配しようとする限りにおいて、「もの」の科学の発想にもとづいた結果だということになる。

「もの」の科学から「こと」の科学へ 「もの」の科学から「こと」の科学への変化は、ちょうど古典物理学から現代物理学へのパラダイム・シフトとアナロジーを成している。アルベルト・ Einstein シュタインが特殊相対性理論を発表したのは一九〇五年のこと、一般相対性理論は一九一五年にまとめられる。この後、それまでの物理学の常識は「古典物理学」の名前で呼ばれるようになつていくのである。もちろん、現代物理学が登場したからといって、すべての物理現象が解明されたわけではない。私たちの宇宙は未だ謎に満ちていて、不可思議なことに取り囲まれている。

121ページ

L1 ラップの中の水は蒸発さえしなければ、いつまでたつても水であるが、蝶の蛹はある時変身して飛んでしまう。「コップの中の水」＝「もの」、「蝶の蛹」＝「こと」

121ページ

Q 「コップの中の水」＝「もの」、「蝶の蛹」＝「こと」という比喩。前者の特徴は不变性であり、後者の特徴は可変性である。

Q 「こと」を扱う科学（3行）における「やり方」（4行）の特徴は何か。

Q 個別性と多様性に目を向けること。

Q 「こと」の「科学」の違いを表の形で整理せよ。

Q 「学習の手引き」参照。

Q 「Aという疾患には最善の治療法Bがあるはずだ」（8行）という考えが「もの」の科学の考え方（9行）だと言わるのはなぜか。

Q 同じ病名であつても病状は個々人の置かれている状況によって異なるのに、同じ薬を投与すれば治るというのは、硬直した考え方だから。

（解説）前ページに「初期条件さえ同じな

問題としての哲学は、メタフィジックス（metaphysics、形而上学）と呼ばれる。

L4 化学 chemistry 化学は、物質を構成している原子や分子に注目し、その生成と分解の反応、および他の物質との間に起こす反応を研究する学問である。その「反応」を利用した、毒ガスなどの化学兵器も、二十世紀が生み出した負の成果の一つであった。

L5 生物学 biology 生物または生命現象を対象に研究する学問である生物学は、一九五三年、ワトソンとクリックによるDNAの二重らせん構造の提案によって大きく発展することになる。全ての生物の遺伝情報は、DNAの塩基配列によって定まっていること

がわかったのである。遺伝情報（ゲノム）の解析は様々な分野で行われており、一九九〇年に始まつたゲノムプロジェクトでは、二〇〇〇年の段階でヒトゲノムのほとんどが解読されたに至つた。今後、ゲノムデータに基づいた医療分野などへの応用が期待されている。

L5 制御可能性と予測可能性 ここでいう制御可能性とは、人間が対象を操作しつつ支配（コントロール）すること。予測可能性と

120ページ

Q 「二十世紀」「二十一世紀」（1行）はそれどのような科学の時代か。

Q 二十世紀は「もの」の科学の時代であり、二十一世紀は「こと」の科学の時代である。

Q 「二十世紀」「二十一世紀」それぞれの科学における「主流」（4行）の学問は何か。

Q 二十世紀の科学は物理学と化学であったが、二十一世紀は生物学である。

Q 「もの」の科学」（2行・5行）の特徴は何か。

Q 制御可能性と予測可能性を追求すること。

Q 「初期条件さえ同じならば、結果も基本的には同じになる」（6行）とはどういうことか。

Q 対象が置かれている条件や対象自体の個別性に左右されることなく、手を加えれば必ず同じ結果が導かれるということ。

Q 「不变」（8行）と「普遍」（121行）との意味の違いは何か。

Q 「不变」は、変わらない・こと（さま）。対義語は可変。一方「普遍」は、①広く行き渡ること。②すべてのものにあてはまる

こと。すべてのものに共通していること。対義語は特殊。「普」も「遍」も「あまね（く）」と読み、すみずみまで広く行きわたる、の意。

121ページ

Q 「コップの中の水」（1行）と「蝶の蛹」（2行）は何の比喩か。またそれぞれの特徴は何か。

Q 「コップの中の水」＝「もの」、「蝶の蛹」＝「こと」という比喩。前者の特徴は不变性であり、後者の特徴は可変性である。

Q 「こと」を扱う科学（3行）における「やり方」（4行）の特徴は何か。

Q 個別性と多様性に目を向けること。

Q 「こと」の「科学」の違いを表の形で整理せよ。

Q 「学習の手引き」参照。

こと。すべてのものに共通していること。対義語は特殊。「普」も「遍」も「あまね（く）」と読み、すみずみまで広く行きわたる、の意。

121ページ

Q 「コップの中の水」＝「もの」、「蝶の蛹」＝「こと」という比喩。前者の特徴は不变性であり、後者の特徴は可変性である。

Q 「こと」を扱う科学（3行）における「やり方」（4行）の特徴は何か。

Q 個別性と多様性に目を向けること。

Q 「こと」の「科学」の違いを表の形で整理せよ。

Q 「学習の手引き」参照。

◎教材と関係の深い、指導に役立つ資料を複数掲載しました。

◎教材文や出典、筆者(作者)について詳しく解説しました。

247 教科書[p.120~p.125]

評論二 「もの」の科学から「こと」の科学へ 246

研究・発展

◎作品解説

『環境問題のウソ』のあとがきで著者はこう述べている。

私が若い人たちに言いたいのは、世間で流通している正義の物語りを信じるのは、墓に入つてからでも遅くはないってことだな。「正義」というのはあなたの頭を破壊する麻薬である。麻薬中毒になると前に、たとえごくわずかでもよい、抵抗せよ。(『環境問題のウソ』あとがき)

本教材の中で筆者が批判するのは、「『もの』の科学」という固定化した思考の方法である。権威や経験、制度や雰囲気に呑まれて安易に下してしまう判断の危険性に対して、警鐘を鳴らしていると言つていだろ。例えば、本教材のヤンバルテナガコガネのように、種を保存するため保護される生き物がいる一方、在来種を保護するという目的のもと、駆除される生物もいる。ブラックバスがその好例である。アメリカ産のブラックバスは、一九二〇年代以降、食用や釣り対象魚として各地の湖に放流されたのが移入の始まりと言われているが、その後多数の地域で見かけられるようになり、一九九九年、新潟県は釣り上げた外来魚(オオクチバス、コクチバス、ブルーギルなど)のリース(再放流)の禁止に踏み切った。これにより、違反者は一年以内の懲役もしくは五十万円以下の罰金に処されることが多いのである。結果、二〇〇〇年以降、全国の漁業調整規則で外来魚の密放流禁止が進んでいる。著者は言う。

ブラックバスが日本に移入されて以来八〇年が経つが、ブラックバスにより滅ぼされた日本の在来種は一種もない。もちろん、人間に健康被害を与えていたり、生態系を破壊したりなど、著者が進んでいた。

ブラックバスが日本に移入されて以来八〇年が経つが、ブラックバスにより滅ぼされた日本の在来種は一種もない。もちろん、人間に健康被害を与えていたり、生態系を破壊したりなど、著者が進んでいた。

「『もの』の科学」の帰結なのである。

◎参考資料1

補・実

「フロンガス」や「環境ホルモン」の脅威を、声高に叫ぶ人はいない

くなつた。今、私たちを取り囲むらしき「脅威」の一つ一つが、実は「流行」の亞種である可能性は否定できない。

環境問題には「流行」がある

一九五〇年代から一九六〇年代にかけてのもうひとつの大きな問題は大気汚染に代表されるいわゆる公害問題であった。しかし公害問題は技術の進歩によつてあらかた克服されてしまつて、今は空気も水もすいぶんきれいになつた。その後で出てきたのが、ゴミをどう処理するかという問題であった。

一九六〇年代までは、ゴミはそれほどに大きな問題ではなかつたと思う。家電製品の数は今ほど多くはなかつたし、使いはじめて、捨られる数も少なかつたから、それらはまだ厄介なゴミにはならなかつた。ほとんどつかないようなテレビでもが中古の商品として売られていたぐらいだったのである。ところが、三〇年ぐらい前から、ゴミの問題は次第に大きくなつてきた。

家電に関連して言うと、一時、盛んに騒がれた話としてフロンの問題がある。フロンがオゾン層を破壊するという話である。環境問題に

ではない。自然環境の人為的改変によつて増加した外来種と減少した在来種とがいる場合、その責を負わねばならないのはあくまで人間の側であつて、ブラックバスのような特定の生物ではないだろ。と言うのである。自分たちが勝手に環境を変化させた上に、数が増えたら特定の生物を問引こうとする発想は、規制に振り回された結果自分の首を絞めてしまつてゐることに気づくことのできない、悪循環の思考、「もの」の科学」の帰結なのである。

おいてフロンガスは最大の悪玉のよう言われていたものだが、いつの間にか、あまり誰も言わなくなつた。

実は、最近では、フロンガスがオゾン層を破壊する主たる原因なのか、どうも怪しくなつてきたのである。どうやら、南極の温度が下がるとその上空のオゾンが破壊されるという説が近年、有力になつてきらしい。つまり、オゾンホールの増大は、太陽活動に関連した南極の気温の低下が主因だったのではないか、ということなのである。

また、一時「環境ホルモン」が野生動物のメス化を促進するとして大きな問題になつてゐたが、これも最近ではどうやらガセネタらしいということが判り、言及されなくなつた。

このことからもわかるように、環境問題にはある種の「流行」のようなものがある。そのときの、いちばん「ウケる」話題が一気に出てきて、それだけが最大で唯一の環境問題になつてしまつ。逆に言えば、あとのことは別にたいした問題ではないといふ感じにさえなりがちである。

現在でいえば地球温暖化を招く温室効果ガスの二酸化炭素(CO₂)の排出量をどう削減するかということが環境問題における最大のテーマのようになつてゐるけれども、あと二〇年もしたら、CO₂の問題もまたいたした問題ではなくなるのかもしれない。CO₂の代わりに別の「問題」が大きく取り上げられるようになるのではないかという気がしてならない。とにかくいまは、CO₂による地球温暖化が環境問題における最大の「流行」になつてゐるのだ。

『新しい環境問題の教科書』 池田清彦(二〇一〇年・新潮文庫)

◎参考資料2

補・実

「もの」の科学から「こと」の科学へ、という発想が、実体論から

◎付属の「補充教材集」「実力問題集」にも掲載されている文章は、それぞれ補・実と記しました。

◎「(いま)を読む」については、評論教材と同様の内容に加えて、教科書で設定された課題について、複数の解答例と解説、評価例を載せています。

55 教科書[p.132~p.135]

〈いま〉を読む3 なぜ私たちは労働するのか 54

課題

一・筆者が考える「労働の本質」とはどのようなものか。まとめてみよう。

【解答例】
労働の本質は個人の努力が集団の利益に「かたちを変える」ことのうちに存在している。その労働は、個人の努力が個人に專一的に還元されることを求める。逆にできるだけ多くの他者に利益として分配されることを求めるような「特異なメンタリティ」によって動機づけられている。それが必要なのは私たちが生き延びるためにある。

【解説】
筆者の主張を読み取る。「だが、労働の本質は（そのせい）であろう。」（134上・17～134下・6）の段落に示されているのは、今までもない。さらに、最後の段落「もうおわかりだろうが、（高いとは思わない）」（135下・3～8）の段落で、その「特異なメンタリティ」が必要なのは、「生き延びるためにある」といつてることにも注目してほしい。

二・若者と労働についてどのようなことが話題になつてているか、調べて発表してみよう。

【解説】
正社員なみにフルタイムで働いても生活の維持が困難な「ワーキングプア」、派遣をめぐる「擬装派遣」や「労働者派遣法」、賃金格差の拡大に伴う「格差社会」「貧困」、経済不況に伴う「リストラ」、労働環境

ことを参考にしてもよいだろう。もちろん課題文の筆者の体験をふまえて意見を展開することも可能である。

【生徒解答例①】

私は筆者と同じく、多くの他者に利益として分配されることを求めるような「特異なメンタリティ」こそが労働のあるべき姿であると考えている。また、どんな理不尽な条件でも耐えぬくメンタリティが労働者には必要だ。

最近はやりがいのある仕事を求めて離職・転職する若者が多いが、それはただの甘えだと思う。物が溢れた時代に生まれ、我慢することを知らない今の若者は一度壁にぶつかるとすぐに安易な方向へと逃げてしまう。やりがいのある仕事を求めるという理由で嫌なことから逃げているだけなのだ。

どんなにがんばっても出世できないなど社会にでれば理不尽なことはいくらもある。しかし、自分ではがんばっていても、その努力が他者に認められなくては意味がない。だからこそ私は理不尽をすべて飲み込む必要があると考えている。そうすることが他者に評価され成功する一番の近道なのだ。

若いうちの労働は買つてでもしろとよく言うが、いまの若者ようなりセント世代にはこれが通用しない。今が良ければよい、失敗すればまたゲームのようにリセットボタンを押せばいい。これがセント世代の考え方だ。彼らは自分の利益を最優先し、自分の努力がすぐに結果に出ることを望み、極力無駄を省こうとする。だから彼らは自分にあわないとすぐ逃げるし、自分への直接的な利益にはならない他者や組織への貢献を嫌うのだろう。元プロ野球選手の野村克也は、いきなり大きなことにチャレンジするよりも、当たり前のようができる基本的なことをしっかりとやることが大きなことに

境の国際化による「グローバル化」「外国人労働者」などさまざまな問題があげられる。新聞やインターネットなどを適宜活用して調べさせるとよい。

現在の日本社会は雇用や労働環境が悪化している。その原因の一つは正社員を非正規雇用者に切り替える動きである。非正規雇用者は賃金が安く抑えられる上に企業はいつでも解雇することができる。一方、正規雇用者の労働環境も悪化している。リストラによる人員削減で労働量が増え過労死や生活環境の悪化を生む。うつ病になつたり自殺を選んだりすることもある。多忙であるがゆえに家庭を持たなければ、少子化にもつながっていく。

その他にも、男女で差別なく働くことができているか、外国人労働者を受け入れるべきか、終身雇用制は望ましくない制度なのか、などさまざまな観点から労働について考えることができる。労働問題に関する書籍は豊富にあるし、新聞や雑誌等でもとりあげられている。図書館やインターネットなども有効に利用し、知識を深めてほしい。

三・「労働」についてのあなたの考えを、八〇〇字程度でまとめてみよう。

【課題の解説】

本文をふまえて書くという条件ではないので、課題文の理解を直接問われているわけではない。労働に関する知識や自分の体験があれば、それをもとに自分の意見をまとめればよい。課題二で調べた

チャレンジする際の鍵になるという。

一見無駄に見える他者や組織への貢献、上司からの理不尽な要望などすべて意味のあることであり、「特異なメンタリティ」こそが労働のるべき姿だと私は考えている。（七三四字）

【生徒解答例①の解説】

これは本文をふまえて自分の意見を展開している。基本的には筆者の主張に添うものになつていて。しかし、「理不尽なことはいくらでもある」ことに注目していること、自分が考える若者世代の分析、著名人の発言など用いて、オリジナリティを出している。

【生徒解答例①の評価例】

● 観点別評価

- ① 課題文の理解度 A B C D E
- ② 構成的的確さ A B C D E
- ③ 論証・例示的確さ A B C D E
- ④ 結論の明快さ A B C D E
- ⑤ 語句や表現的確さ A B C D E

● 総合評価 A B C D E

「理不尽なこと」に関する説明にもう少し説得力がほしい

が、全体として読みやすく論理的な文章になつていて。

私は夢がある。誰かの幸せをサポートする仕事、プライダルブロデューサーになることだ。人生で一番幸せな日をプロデュースする仕事は「やりがいのある仕事」だと思う。実際に若者たちの間ではこの職につくことを希望しているものが年々増加している。しかし、いざ見習いとしてデビューした若者の大半は、下積み時代の仕

◎教材本文を縦ルビで掲載して詳細な品詞分解を示し、一文ごとに番号を振って
口語訳と対応させました。(漢文教材では書き下し文と口語訳を掲載しています。)

◎教材全体を概観できるよう、大意を示すとともに、全体の構成を表組みで示し、それぞれの段落に小見出しを立てました。

15 教科書 [p.58~p.59]

軍記 平家物語 14

祇園精舍

段落	ページ・行	大意
第一段	初め～58 3「塵 に同じ。」	盛者必衰の理 祇園精舎の鐘、娑羅双樹の花の故事が示すように、人の世は無常で、勢い盛んな者も必ず衰え、強く猛々しい者も必ず滅びる。
第一段	58 ・ 4 「遠く異 朝を」～終わり	盛者必衰の先例・清盛の登場 中国や日本の歴史上の先例にも、その道理は表れているが、最近の例では、平清盛一門のおごった心や猛々しい様子は、それらの先例を超えて、想像を絶するほどにひどいありさまであった。

大意
祇園精舎の鐘、娑羅双樹の花の故事が示すように、人の世は無常で、勢い盛んな者も必ず衰え、強く猛々しい者も必ず滅びる。中国や日本の歴史上的の先例にも、その道理は表れているが、最近の例では、平清盛一門のおごった心や猛々しい様子は、それらの先例を超えて、想像を絶するほどにひどいありさまであった。

（前回未完の）金管室の、金の音色の、この印象に身入るに製作して同じ状態でないといふ、夏至を（て）夏至の、ある。②（歌詞入滅の時に白く変じたと伝えられる）婆羅双樹の花の色は、勢い盛んな者もいかは必ず衰えるものだという人の世の道理をよく象徴している。③権勢を誇り榮華におごっている者もその状態はいつまでも続くわけではなく、（はかないことは）まさに春の夜に見るつかのまの夢のようだ。④勇ましく猛々しい者も結局は滅んでしまうが、それはまったく風が吹けば飛んでしまうような塵と同じ運命なのである。

◎教科書の「語句」欄の語句や重要な概念、固有名詞などについて解説したほか、読解上のポイントになる文についても取り上げました。

- 教材全体を概観できるよう、
内容を図式化したものを示しました。

19 教科書〔p.58~p.59〕

軍記 平家物語 1

「おん」園だつた。釈迦に帰依した須達長者がこれを買収仏教の僧院や堂舎を造つて寄進した。須達長者はさらに、孤児や身寄りのない老人に衣食を施したため「給孤独長者」と呼ばれた。この二人の名をとつて「祇樹給孤独園」略して「祇園」と呼ばれるようになった。「精舎」は精進の堂舎の意で、僧たちが仏道を修習する場をいう。釈迦は、後半生の二十五年間、この祇園精舎で雨期を過ごし、さまざま的な説法を行つたという。『阿弥陀経』をはじめ、現存する経典の七、八割がこの精舎で説

53% - ニューヨーク・トレーニング

卷之二

卷之三

130

111

111

ま近くは、
前太政大臣 =
平朝臣清盛公 =

と申しし人のありさま、伝へ承ること、
〔心も
ことばも〕 及ばれね

(2)

おこれる人 も久しうからず、
ただ 春の夜の夢 のごとし。

(3)

猛き者 もつひには滅びぬ、ひとへに 風の前の塵 に同じ。

遠く 異朝 をとぶらへば、

秦の趙高 漢の王莽 梁の朱异 唐の禄山

これらは皆 謙めをも思ひ入れず、
天下の乱れんことを悟らずして、

民間の憂ふるところを知らざつしかば、

久しかば、 亡じ

これらは おこれる心も、

皆とりどりにこそありしかども

近く 本朝 をうかがふに、

康和の義親 天慶の純友 承平の将門

これらは皆 謙めをも思ひ入れず、
天下の乱れんことを悟らずして、

民間の憂ふるところを知らざつしかば、

久しかば、 亡じ

平治の信頼

この序章の文章は、非常に均整のとれた対句仕立てになつてゐる。全体は、①～④に分かれる。①では、「祇園精舎の鐘」と「婆羅双樹の花」という二つの仏教故事が対句になつてゐる。②では、「おこれる人……」と「猛き者……」が③では、「遠く異朝……」と「近く本朝……」がそれぞれ対句になり、④の「ま近くは……」という一文で本編の主人公平清盛にたどりつき結ばれるという構造である。

◎授業展開時に有効な発問と解答例を示し、必要に応じて解説を加えました。

◎内容理解の参考となる興味深いコラムを適宜掲載しました。

◎採録教材の主題や、関連する章段や作品への言及など、教材への理解を深める内容を掲載しました。

軍記 平家物語 26

27 教科書 [p.58~p.59]

*語句

理 「名」①ものごとの道理。筋道。②判断。裁定。③説明。言い訳。理由。④謝罪。とぶらふ 「他ハ四」①訪問する。訪れる。②捜す。調べる。③見舞う。安否を聞く。承る 「他ラ四」①『受く』の謙譲語。お受けする。②『承諾する』の謙譲語。承諾申しあげる。③『聞く』の謙譲語。お聞きする。拝聴する。④『見る』の謙譲語。拝見する。

コラム

「祇園精舎」その後

「祇園精舎」は、このあと、桓武平氏の系譜が語られる（参考）参照。桓武天皇から書き起こし、清盛は十一代の後胤となる。しかし最後に「殿上の仙籍をば未だ許されず」とする。数々の戦で戦功をあげたとはいえ、平家はまだ殿上に上ることを許されない「地下人」であった。父忠盛が初めて殿上人となり、平家の栄華への第一歩を踏み出す。次の章段「殿上の闇討ち」では、忠盛が殿上人の仲間入りをしたこと、それに対しても上流貴族たちが激しく反発していやがらせをしたこと、忠盛は賢い人で、そのいじめから深謀遠慮で逃れたことが描かれる。

コラム

平曲としての「祇園精舎」

『平家物語』は琵琶法師の語り（平曲）によって広く流布することになった。平曲は一章段ごとに独立しているので、必ずしも冒頭から順番に聞かせていったわけではなく、リクエストに応じて演じられる場合も多かった。当然、人気のある章段とそうでない章段には差がある。特に人気のあったのは、「木曾最期」「敦盛の最期」「那須与」などである。ところで冒頭の「祇園精舎」であるが、これは琵琶法師にとつても極めて特別な章段で、平曲においては「秘事」の一つとされていた。秘事というのは、平曲伝授の上で特に意味づけの行われた曲である。秘事は、平曲伝授の過程で、まず平物（百八十八句）を習得しなければ、伝授されなかつた句である。秘事は全部で十一句（曲）あり、「祇園精舎」はそのうちの一曲であった。

図版解説

○平家琵琶（教科書59ページ）
この琵琶の銘は「相応」。琵琶の起源は古代ペルシアであるとされ日本では、中國経由で渡来した雅楽用の琵琶（楽琵琶）と、インドから東南アジアを通って来たとされる九州の盲僧琵琶に分かれている。平家琵琶は、姿勢は楽琵琶に近いが、それよりひと回り小さい。また、楽琵琶が四絃四柱で、柱の位置が固定されているのに対し、平家琵琶は、四絃五柱で、柱の位置は可動式である。『平家物語』は、この平家琵琶を用いた琵琶法師（琵琶を演奏する僧形の盲人）によって語られることで、広く流布することとなつた。安徳天皇の墓前で壇の浦合戦を語つた盲日の若者、芳一が平家の亡者に両耳を奪われる「耳なし芳」の話は有名。

奥村俊郎蔵（京都市歴史資料館提供）

○鑑賞

『平家物語』は数多くの諸本があり、それら諸本間には同じ作品なのかと首をかしげるほどの大きな異同すら存在する。そのような中にあって、この「祇園精舎」の部分はほぼ全ての本が有しており、しかもさほど大きな異同が見られない。この章段が『平家物語』という作品にとってそれほど重要な意味をもつていたということであろう。「諸行無常」「盛者必衰」という観念は『平家物語』全体に通底する概念として、冒頭に置かなければならなかつたのだ。

当該章段では、この「諸行無常」「盛者必衰」の観念を表現するべく、「祇園精舎の鐘の声」「娑羅双樹の花の色」という仏教故事から説き起こす。そしてこの観念のもとに、身を滅ぼしていった歴史上の人物たちの例をあげていく。有名な人物たちの名が実例としてあがることで、読者や聴衆は、その因果関係をなるほどと実感できたことであろう。

そして物語は、そういった人物たちの極めつけとして平清盛を取りあげ、その出自より語り始める。しかし、『平家物語』が清盛の滅びゆくさまを描くことを目的としていたかというと、そうではない。そもそも清盛は物語の中盤で病死という理由で退場してしまい、実際衰頼の憂き目に遭うのは、彼の兄弟、子や孫なのである。それならば、そんな平家一門の姿に焦点を絞って物語を展開させているかというと、たしかにそれが柱の一つになつていることは否定できないが、決してそれが全てというわけではない。『平家物語』はさまざまなおところに視線を向ける。平家と敵対する源氏はもちろん、記録類であればその詳細が書きとめられることはなかつたであろう人々にもスポットをあて、彼ら個々人の生きざま、死にざまを描いていくのだ。それは群像劇というふざわしい。

補

『平家物語』が作られてゆく時期——、それは、まだ源平の合戦の記憶が生々しく残つてゐる時期であった。合戦は当事者だけではなく、無関係な民まで巻き込んでいく。さまざまな立場、階層の人物たちがそれぞれの立場で経験した源平合戦を語り、そしてそれが、子や孫に受け継がれていく。そういったさまざまの伝承を集約していく形で『平家物語』はできあがつていくのだ。特定の人物を主人公として英雄物語を作りあげるではなく、記録類では残しきれない、個々人の生きた証を記録していくことを通して、源平合戦時代に翻弄された全ての人々に対する鎮魂の思いを表現しようとしたテクスト、それが『平家物語』なのである。

○参考

『祇園精舎』の後半部分を掲載する。物語の発端を登場人物の出自から説き起こすのは、物語の常套的スタイルで、軍記物語の場合は特にこの傾向が強い。この系譜からは、清盛が天皇の皇胤だったなど、彼の貴種性が表れている。清盛が「心もことばも及ばれ」ぬ人であったのも頷けるというものだろう。

○付属の「補充教材集」「実力問題集」にも掲載されている
文章は、それぞれ補・実と記しました。

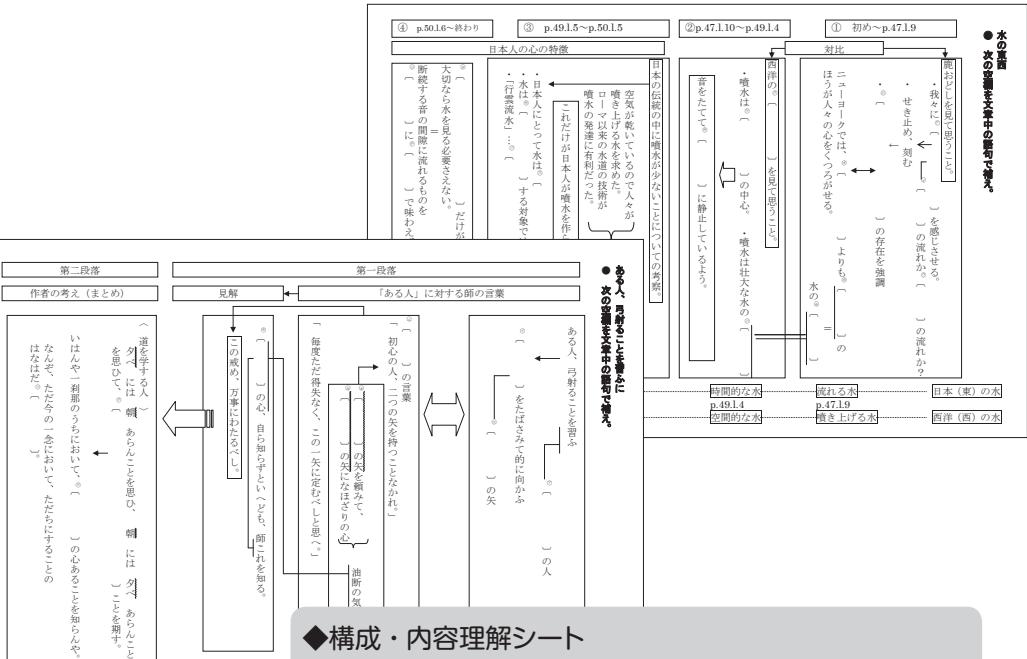
（『平家物語 上』（新日本古典文学大系）一九九一年・岩波書店）

付属DVDR-ROM 基本テスト

付属DVD-ROM
評価問題集

短時間で基礎を養う小テストです。現代文では漢字や語句、古文では文法、漢文では句法などについて出題します。

6 水の東西 ①		得点	1点×30
【一】	——部の片假名を漢字に改めよ。	【三】	次のアーヴーの——部の片假名を漢字に改めよ。
①シーノーがガタムく。 ②無限にリリ返される。	①アーヴーがシヨウする。 ②イアンシリウ用植物。	①シーノーがガタムく。 ②無限にリリ返される。	①アーヴーがシヨウする。 ②イアンシリウ用植物。
③壊つたオキヨリ。 ④日本のアート芸能。	③壊つたオキヨリ。 ④日本のアート芸能。	③壊つたオキヨリ。 ④日本のアート芸能。	③壊つたオキヨリ。 ④日本のアート芸能。
⑤ソウタクな水の道筋。 ⑥ハロックチヨウヨコ。	⑤ソウタクな水の道筋。 ⑥ハロックチヨウヨコ。	⑤ソウタクな水の道筋。 ⑥ハロックチヨウヨコ。	⑤ソウタクな水の道筋。 ⑥ハロックチヨウヨコ。
⑦水をアーヴーヨクする。	⑦水をアーヴーヨクする。	⑦水をアーヴーヨクする。	⑦水をアーヴーヨクする。
⑧ダンシングする銀。	⑧ダンシングする銀。	⑧ダンシングする銀。	⑧ダンシングする銀。
——部の漢字の読み仮名を平仮名で記せよ。	——部の漢字の読み仮名を平仮名で記せよ。	——部の漢字の読み仮名を平仮名(現代)で記せよ。	——部の漢字の読み仮名を平仮名(現代)で記せよ。
【二】	1点×30	【二】	1点×30
①水受けが跳ね上がる。 ②綱やかなリズム。 ③何事を恐るるやうに御用。	①水受けが跳ね上がる。 ②綱やかなリズム。 ③何事を恐るるやうに御用。	①弓射るのうをかくして。 ②弓射るのうをかくして。	①弓射るのうをかくして。 ②弓射るのうをかくして。
④次の音の長い回転。	④次の音の長い回転。	①弓射るのうをかくして。 ②弓射るのうをかくして。	①弓射るのうをかくして。 ②弓射るのうをかくして。
⑤細やかな清水。	⑤細やかな清水。	③弓射るのうをかくして。 ④弓射るのうをかくして。	③弓射るのうをかくして。 ④弓射るのうをかくして。
⑥趣向を競う。	⑥趣向を競う。	⑤弓射るのうをかくして。 ⑥弓射るのうをかくして。	⑤弓射るのうをかくして。 ⑥弓射るのうをかくして。
⑦溺え物にぎない。	⑦溺え物にぎない。	⑦弓射るのうをかくして。 ⑧弓射るのうをかくして。	⑦弓射るのうをかくして。 ⑧弓射るのうをかくして。
⑧表情にやさしい。	⑧表情にやさしい。	⑧弓射るのうをかくして。 ⑨弓射るのうをかくして。	⑧弓射るのうをかくして。 ⑨弓射るのうをかくして。
——部の語句の意味をあとから選べ。	——部の語句の意味をあとから選べ。	——部の語の品詞詞性名をあとから選べ。	——部の語の品詞詞性名をあとから選べ。
【三】	1点×6	【三】	1点×3
①諸矢をたたかひて的に向かふ。 ②アからえて イかついで ウはさんで ③おろかにせんと思はせや。	①諸矢をたたかひて的に向かふ。 ②アからえて イかついで ウはさんで ③おろかにせんと思はせや。	①一つの矢を持つことなれ。 ②この「矢」といふことと思へ。	①一つの矢を持つことなれ。 ②この「矢」といふことと思へ。
アいい加減な イ禮要に ウすくに ③わんこらせんことを期す。	アいい加減な イ禮要に ウすくに ③わんこらせんことを期す。	③おろかにせんと思はせん。 ④利那のううにおい ⑤はなや ⑥田から知らねといへん。	③おろかにせんと思はせん。 ④利那のううにおい ⑤はなや ⑥田から知らねといへん。
ア欲深く イ恥ずかしげもなく ウ念を入れて。	ア欲深く イ恥ずかしげもなく ウ念を入れて。	①弓射るのうをかくして。 ②弓射るのうをかくして。	①弓射るのうをかくして。 ②弓射るのうをかくして。
④ねんごろに修せんことを期す。	④ねんごろに修せんことを期す。	③弓射るのうをかくして。 ④弓射るのうをかくして。	③弓射るのうをかくして。 ④弓射るのうをかくして。
ア心穠もじする イ立派にやり遂げる	ア心穠もじする イ立派にやり遂げる	③弓射るのうをかくして。 ④弓射るのうをかくして。	③弓射るのうをかくして。 ④弓射るのうをかくして。
⑥道を学する人、 ウ道徳	⑥道を学する人、 ウ道徳	③弓射るのうをかくして。 ④弓射るのうをかくして。	③弓射るのうをかくして。 ④弓射るのうをかくして。
——部の語の活用形を記せよ。	——部の語の活用形を記せよ。	——部の語の品詞詞性名をあとから選べ。	——部の語の品詞詞性名をあとから選べ。
【四】	1点×6	【四】	1点×3
①名詞 ア名詞 イ形容動詞 ウ形容詞 エ副詞 オ形容詞 カ接続詞 ハ接続詞 ジ助詞	①名詞 ア名詞 イ形容動詞 ウ形容詞 エ副詞 オ形容詞 カ接続詞 ハ接続詞 ジ助詞	①弓射るのうをかくして。 ②弓射るのうをかくして。	①弓射るのうをかくして。 ②弓射るのうをかくして。
②	1点×6	②	1点×3
年 組 番 氏名 ()	年 組 番 氏名 ()	年 組 番 氏名 ()	年 組 番 氏名 ()



◆構成・内容理解シート

教材文の構成や内容を、表や図に整理して理解するためのワークシートです。

水の東西(教科書46ページ～51ページ)	月 日 年組 氏名
1 意味()短文()	語句学習シート10 月 日 年組 氏名
2 意味()短文()	ある人 司馬文正(しまたぶんじやう)教科書253ページ～254ページ
3 意味()短文()	おろかなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名
4 意味()短文()	ねいひなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名
5 意味()短文()	おろかなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名
6 意味()短文()	おろかなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名
7 意味()短文()	おろかなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名
8 意味()短文()	おろかなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名
9 意味()短文()	おろかなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名
10 意味()短文()	おろかなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名
11 意味()短文()	おろかなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名
12 意味()短文()	おろかなり()語句学習シート10 月 日 年組 氏名

◆語句・漢字学習シート

教科書の脚注欄に示した語句や漢字について、意味や文法事項を調べ、確認するワークシートです。

その他、古文教材の品詞分解を書き込むための「古文品詞分解シート」、漢文教材の書き下し文を抽出した「漢文書き下し文シート」、古典教材の口語訳を抽出した「古典口語訳シート」を収録しています。

定期考査などに使える問題を、各教材、難易度別に複数収録しています。長文の教材は出題箇所を変えるなど、重要なポイントを網羅します。解答に加え、丁寧な解説も付しています。

選子 読句を確認して、一部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

三 次の二行の意味を答えなさい。

① 愛嬌

② 徒歩

③ 慶祝

④ 感性

⑤ 感覚

⑥ 感情

⑦ 感想

⑧ 感想

⑨ 感想

⑩ 感想

⑪ 感想

⑫ 感想

⑬ 感想

⑭ 感想

⑮ 感想

⑯ 感想

⑰ 感想

⑱ 感想

⑲ 感想

⑳ 感想

㉑ 感想

㉒ 感想

㉓ 感想

㉔ 感想

㉕ 感想

㉖ 感想

㉗ 感想

㉘ 感想

㉙ 感想

㉚ 感想

二次の――機部のカタカナを漢字に直しなさい。

① シーラーのイヤターン

② クラリカタム

③ ベルカニズム

④ オンキオウ

⑤ ベルカニズム

⑥ ベルカニズム

⑦ ベルカニズム

⑧ ベルカニズム

⑨ ベルカニズム

⑩ ベルカニズム

⑪ ベルカニズム

⑫ ベルカニズム

⑬ ベルカニズム

音と書の長いカタカナで、それを書く。

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

水を引く、引き立てる。

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

守備の問題

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

行為の問題

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

難問

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

文童の理解を深めよう

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

「誰」と「誰」を比較してみよう。

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

1 なんなら人生のけがならぬ感じる

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

2 「おひどく、ぐもなが優しい」(4・5)を、①別な表現で表した言葉を、

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

3 それ(4・6・10)とは、何を描いていますか。本文中から五字で抜き出しな

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

4 流れる水、噴き立てる水(4・7・9)とは、それぞれ具體的に何を描いてい

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

5 「エスカの別注」の噴水の印象を述べた一文を本文中から抜き出しな

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

6 時間的な水、空間的な水(4・9・4)とは、それぞれ具體的に何を描いてい

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

7 「鹿の立」と噴水の違いを説明した次の文の空欄に、あとはまる音葉を

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

8 「え物」が「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

9 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

10 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

11 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

12 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

13 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

14 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

15 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

16 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

17 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

】

18 「死」を意味する

】

】

】

】

】

】

】